



防犯灯を増設し、舗道を明るくする工事

地域強化対策室長 舟形小学校から一の関の信号機までの町道の防犯灯が、歩道を照らしていない部分があるので、防犯灯を増設するための予算350万円ほどを計上しています。

議員 町道舟形一の関線の照明設備に係る経費が計上されているが、具体的な工事内容は。

道路新設改良

9月定例会

質疑応答

議員 舟形町職員の育児休業の取得実績は。
総務課長 昨年度まで7人が育児休業取得済みです。今年度は今のところ3人が取得予定となっています。

育児休業取得

教育課長 この事業は学校図書館を、地域に開かれたコミュニティスクールを進める中で、町民の方にもどんどん利用していただきたいという目的で実施する事業です。

議員 文部科学省のモデル事業として、学校図書館を活用し、地域と連携を図り読書活動を推進する経費が計上されているが具体的内容は。

小学校の図書館

地域整備課長 略式代執行を行うまでの判断基準は明確に定めております。詳細については広報誌等で町民の皆様周知してまいります。

特定空き家対策

議員 町が実施主体となり、初めての略式代執行が行われるが、判断基準を明確にして、今後町民の方に周知する必要があると思うが。

補正予算 気になる中身をピックアップ！

第3回定例会
9月3日～9日

舟形町初

特定空き家略式代執行決まる

9月定例会は、9月3日から9日までの7日間の日程で開かれました。一般質問では6名の議員が登壇し、町政運営や課題、将来の展望をいただきました。町長提出案件は西又地区水路復旧工事請負契約の締結についての専決処分、令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資

金不足の比率の報告、令和7年度一般会計・特別会計補正予算5件の承認、最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更、舟形町人権擁護委員の推薦、令和6年度一般会計歳入歳出決算、令和6年度国民健康保健特別会計事業勘定歳入歳出決算の認定について、全15議案が提出され、原案通り承認・可決しました。

略式代執行による解体

降雪期前まで解体予定



住宅



付属小屋

- ①住宅
・構造：木造2階建て ・建築年：昭和33年建築
- ②付属小屋
・構造：木造2階建て ・建築年：昭和41年建築
- ③予算措置
・国庫補助金：3,415,000円 ・特別交付税：1,707,000円
・町負担：2,878,000円
合計8,000,000円の経費です。

判断基準



- ①特定空き家等に認定済みであること。
- ②相続放棄により、所有者不在であること。
- ③応急対応では隣家、道路等への危険を排除できない。
- ④土地、建物について、新たに取得する者が現れる可能性が極めて低い。

農業用施設災害復旧支援事業

7167万円



越水による用水路法面崩壊



増水により浸食された護岸



令和6年7月豪雨災害で被災した農地、農業用施設の復旧費及び復旧箇所の増加に係る経費です。

議案の採決結果は8ページに掲載

スクールバス購入費

議員 当初予算でスクールバス購入費は1376万円に予算化されていたが、今回、57万円の補正予算が計上された内容は。

教育課長 当初から四輪駆動のマイクロバスを購入する予定でしたが、受注がストップとなり、その後メーカー側からマイナーチェンジの情報が入り再度見積もりを行った結果、価格上昇が発生したため追加の金額になります。



購入から17年・32万km走った更新予定のスクールバス